

令和8年5月 市長定例記者会見

日時：令和8年5月1日（金） 11：00～

場所：庁議室

-----市長-----

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、令和8年5月定例記者会見を始めます。

まずは、先日の金木さくらまつりについて、報道機関の皆様には様々な媒体で報じていただき、ありがとうございました。今後も様々なイベントを予定しており、市の魅力を発信する機会が多くなりますので、引き続きよろしく願いいたします。

さて、本日の記者会見は、通話録音装置の導入と、ふるさと納税の実績についてのお知らせになります。

はじめに、「通話録音装置の導入」についてご案内します。

本日5月1日から、市役所の電話に通話録音装置を導入しております。市役所に電話をかけると、「この通話を録音します」という機械音声のアナウンスが流れ、その後、電話がつながります。

市役所から電話をかける際は、アナウンスが流れず通話録音が始まります。

職員の接遇意識の向上を図るとともに、電話によるカスタマーハラスメントの防止を目的としておりますので、市民の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

---

続いて、「令和7年度「ふるさと納税」及び「企業版ふるさと納税」の実績」について報告いたします。

はじめに、ふるさと納税についてです。

昨年度も、本市のふるさと納税において、多くのご寄附を賜りました。全国の皆様からの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

本市の魅力ある特産品や事業者の努力が評価された結果であり、地域の事業者の皆様と連携した返礼品の充実や、積極的な情報発信の成果であると受け止めております。

いただいた寄附金は、子育て支援や地域産業の振興など、市民生活の向上に資する施策に大切に活用させていただき、地域一体となって、持続可能なまちづくりにつなげてまいります。今後とも、本市への応援をよろしくをお願いいたします。

それでは、概要を報告いたします。資料「令和7年度 五所川原市ふるさと納税実績」の1ページをご覧ください。

令和7年度は、寄附件数が3万8,651件、寄附額が10億4,466万5,200円となり、令和6年度と比較し、件数は減少となりましたが、寄附額については、8年連続で過去最高額を更新したほか、3年連続で10億円を突破いたしました。

次に、企業版ふるさと納税についてです。

まずは、この場をお借りして、ご寄附いただいた企業の皆様に対しまして、本市の取組にご賛同いただき、ご寄附を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

本市が推進する地域活性化事業に対し、企業の皆様から力強いご支援をいただけたことを大変心強く感じております。

改めまして、温かいご支援に、心より感謝申し上げます。企業の皆様との連携を力に、地域の未来づくりを着実に進めてまいります。

それでは、詳細について、担当課長より説明いたします。

-----以下、地域物産振興課で説明-----

それでは、詳細について説明させていただきます。資料「令和7年度 五所川原市ふるさと納税実績」の1ページをご覧ください。

コース別の寄附額は、資料のとおりですが、令和7年度は豪雪災害支援コースを設定し、2月3日より順次寄附を募ったところ、62件、110万円を受け入れしております。

返礼品については、依然として、米、りんごが根強い人気となっております。

資料の2ページには、直近の実績を掲載しておりますので、後ほどご確認ください。

続いて、資料の3ページになります。

地域の事業者との関係性を構築するため、事業者訪問を積極的に実施しており、返礼品は134品、提供事業者は11者の増加に繋がっております。

続いて、資料の4ページになります。

令和7年度は、主に米の在庫確保、広告の強化、ポータルサイトの増強、大型イベントへの参加によるPRに取り組みました。

最後に、資料の5ページです。

参考までに、上位の返礼品をご紹介します。件数ベースでは米、りんごジュース、りんご、金額ベースでは米が上位を占めております。

続いて、企業版ふるさと納税の詳細です。資料「令和7年度 五所川原市企業版ふるさと納税実績」の1ページをご覧ください。

令和7年度は、日本生命保険相互会社様ほか7社から、260万円の寄附を受け入れしております。当市に馴染みのあるところでは、誘致企業の鳥羽工産株式会社様、株式会社エノモト様より寄附を頂戴しております。

説明は以上です。

-----市長-----

以上となりますが、記者の皆様には、当市の情報発信へのご協力をよろしくお願いいたします。